

会議名称	令和2年度第2回平塚市スポーツ推進審議会
日時	令和2年(2020年)11月19日(木) 15時00分から16時00分まで
会場	平塚市勤労会館3階 大会議室
委員数	14名
出席者 委員	12名 陶山正明、栗生光一、高橋佳久、首藤幸子、鈴木登喜雄、高橋篤、落合浩一、守屋勝教、畔柳豪、井上純一、浮田悦治、青木あい
出席者 事務局	5名 平井社会教育部長、佐野スポーツ課長、五島課長代理、奥脇課長代理、天瀬主査

事務局より、委員の定数14名に対し、本日の出席者は12名であり、委員の出席が過半数を超えており、平塚市スポーツ推進審議会規則第4条の規定に基づき、本会議が成立している報告がなされた。

10月期の人事異動による事務局職員紹介。

事務局より、傍聴人はいない旨報告がなされた。

## 1 あいさつ

陶山会長よりあいさつ

社会教育部長よりあいさつ

## 2 議題

### 【報告事項】

#### (1) 新型コロナウイルス禍における本市スポーツ行政の状況について

### 【事務局】

#### ア 令和2年度のスポーツ事業

市のスポーツ事業については、前回の会議の際に8月末の市民総合体育大会の中止までをご報告させていただいた。それから、本日の会議までの間、やはり新型コロナウイルスの感染拡大防止を受け、ご覧のとおり令和3年1月17日までの事業の中止が決定している。10月に開催予定だったパラスポーツフェスタ、東海大学との交流事業である中学生陸上教室やバスケットボール教室、年明けの毎年1月に開催予定である市内駅伝競走大会などが中止となっている。今後のスポーツ課の事業予定としては、2月20日、市内のスポーツクラブの指導者を対象とする講習会の準備を進めており、年度末

までの事業についても、今後関係団体等と協議し、実施の可否を決めていく。また、昨年度は中止となり、今年度は3月28日に開催を予定している市民スポーツフェスティバルについては、コロナ禍の対応として、当日の参加者には検温、氏名、住所、連絡先を名簿に登載し、手指の消毒等の徹底、3密の回避といった対策を講じる。実施にあたっては現在、体育協会の各種目協会などにフェスティバル参加の意向確認を行っており、フェスティバル本来の趣旨や目的を達成できるイベントであるかなども踏まえ、12月に予定している実行委員会役員会において、実施の最終判断をする。

本市以外の事業として、主なものでは、かながわ駅伝が、今年度2月の開催が中止となっており、令和3年度、来年度についても中止と、神奈川県から連絡を受けている。次に、湘南国際マラソンだが、こちらは他の市民マラソンが軒並み中止とする中、新型コロナ禍において、新たな市民マラソンのスタイルを提案したいとして、先週の13日金曜日に大会内容の変更方針が広く公表された。主な変更内容は、大会期日は当初12月6日（日）から2月28日（日）へ、距離が42.195キロから25キロへ、大磯ロングビーチ付近からスタートし大磯漁港で折返すルート、参加者をブロック分けして時間差でスタート、コース上の給水は持参したマイボトルへの補給のみとなっている。実施の可否に係る最終決定は、12月10日（木）に開催される大会実行委員会決定すること。

それ以外のところでは、令和3年度に開催予定だったねんりんピックかながわ2021が、岐阜県開催が1年延期となったことを受けて、神奈川県大会も令和4年度に順延となっている。ねんりんピックとは、主として60歳以上を対象にスポーツと文化の祭典として、全国の都道府県及び政令指定都市単位の対抗戦形式で競うスポーツの大会である。開催時期は、令和4年の11月で、このねんりんピックで平塚市はスポーツウエルネス吹矢と囲碁の大会を担う予定となっている。

#### イ スポーツ課として実施したこと

以上、本市及び関連するスポーツのイベントについてご説明させていただいた。最近では中学校のバレーボールや陸上の新人戦大会、体育振興連絡協議会（以下体振）主催のグラウンドゴルフ大会、ニュースポーツ研修会など、まだ事例としては少ないが、いくつか実施事例を伺っている。このコロナ禍の状況でスポーツ活動をする際には、種目・競技によって規定されたコロナ感染対策のガイドラインや、施設使用時の条件として施設ごとに定められた感染対策に沿って、それぞれ取り組んでいただいている。

スポーツ課としては、気兼ねなくスポーツや運動が出来ない状況下においても、市民の健康の維持や増進に向けて、少しでも体を動かす、スポーツに取り組む機会を後押しできるよう、市のホームページとは別に、現在スポーツ課が開設しているウェブサイト「ひらつかスポーツナビ」に新型コロナの特設ページによる情報提供を行って

いる。資料2～3ページは「ひらつかスポーツナビ」のトップページである。2ページ上段の種目別メニューの下、市からのお知らせと、3ページ、黒い囲みが関連の記事となる。コロナの絵のバナーを開くと「コラム 新型コロナウイルス対策」として、2つの記事がある。運動不足気味となる、主に高齢者を対象とする記事として、5ページ、外出自粛時での運動やスポーツの取組のポイントを掲載したものである。もう一つの「コロナ禍に負けない！今できること」というのは、資料6ページ、今運動する上での留意点や、フレイル予防という観点からの健康の維持向上について、スポーツ庁と市の地域包括ケア推進課のウェブページへ誘導する形での記事を掲載している。7ページの「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」については、各種目・競技ごとのコロナ感染対策のページが掲載されている公益財団法人日本スポーツ協会のホームページのリンクに誘導するもの。8ページから10ページがリンク先の内容となる。こちらのページは現在、掲載してから大分時間が経過しており、ページにたどり着きづらい状態になっているので、トップページのコロナ対応のバナーから閲覧できるように修正を予定している。

その他の報告事項として、スポーツ指導者登録制度の活用について、現在の状況をご説明すると、11ページの表の5番、公表のリストでは氏名は伏せるということで、女性の方から、前回の審議会以降に1名追加の登録があった。また、別の方で、プロバスケットボール経験者で本市出身の男性が現在新規登録の手続きを進めている。登録いただいている指導者については、現在、活用の方として地区の公民館に情報を提供し、活用いただく方策について協議している。

【会長】

平塚市スポーツ指導者登録制度について、活用の事例はあるのか。

【事務局】

ない。

【会長】

今後どうしていくのか。

【事務局】

制度をPRする場を設けなくてはと考えている。

【会長】

コミュニティ・スクールにおいて、平塚市の仕組みはまだ不明だが、部活動指導員として本制度の登録者を活用できるのではないかと思う。

【会長】

それぞれの団体の活動状況について、各委員に説明をお願いしたい。

**【委員】**

体育協会（以下体協）について、各競技団体のガイドラインに沿って活動を再開している。大会は観客を限定して行っている。

**【委員】**

体振について、地区によってばらつきはあるが、コロナ感染対策を講じ、対象者も限定しながらニュースポーツ等を実施している。

**【委員】**

スポーツ推進委員について、平塚市まちづくり財団からの依頼で囲碁ボールの講師を地区によっては行っている。推進委員の研修会で囲碁ボールをやる予定だったが、最近のコロナウイルス感染者数の増加により中止とした。

**【委員】**

レクリエーション連盟について、3団体それぞれ活動を再開している。フォークダンスについては、人に触れないように踊れる曲を選定する等工夫して行っている。大会については全て中止となっている。

**【委員】**

スポーツクラブ連合について、種目団体のガイドラインに沿って少しずつ活動を再開している。種目によっては6月から再開し、公式戦も行っている。県主催の大会は無観客で行っているが、本市の大神グラウンドで行われる大会については、一般の散歩している方等もいられるので無観客とするのは難しく、必要最小限の人数での観戦を呼びかけている。また、マウスシールドを着用して競技を行ったり、競技中は大声を出さない等の対策を講じながら活動している。

**【委員】**

中体連について、8月から3年生について練習試合を再開した。9月から大会も再開し、陸上については、1人1種目の出場に限定した。その際の観客は、保護者は1名とし、検温チェックシートの提出も依頼した。10月からの新人戦は無観客で行い、全種目終了した。但し、バスケットボールについては台風の影響で行えなかった。会場には極力人が密にならないよう策を講じながら実施した。県の中体連では、土沢中の生徒が砲丸投げで優勝し、ジュニアオリンピック8位に入賞した。中ブロックの大会もこれから始まる。試合会場の滞在時間を短くするなど工夫をしながら実施していく。

**【委員】**

高体連について、各種競技団体がコロナウイルス感染防止対策を徹底して、十分できている団体、規模を縮小しながら実施している団体がある。競技特性もあるのでそれに応じて参加している。学校内では県からのガイドラインに沿って感染防止対策を講じて部活動を行っている。

**【委員】**

湘南ベルマーレスポーツクラブについて、全ての活動を感染予防対策を講じながら行っている。スクール活動においては、参加者は特定の者だけである。練習中は行動を制限していないが、休憩中は密にならないよう配慮している。

**【委員】**

まちづくり財団について、平塚市スポーツ優秀選手表彰についてはまだ未定である。

**【事務局】**

対象人数は少ないと思われるので、人数によって規模を縮小して実施したい。今後スポーツ課と財団で相談しながら詳細を詰めていく。

**【委員】**

健康推進員連絡協議会について、健康課と相談しながら、くすの木体操、健康体操、ウォーキングを実施している。健康チェック、検温、参加者名簿の作成、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、参加者人数の制限等を行っている。

**【委員】**

市内地区公民館について、部屋ごとに定員を決めて活動している。

**【協議事項】**

**(1) 第70回市民総合体育大会について**

**【事務局】**

第70回の市民総合体育大会については前回の審議会でも、内容を精査し、見直しを検討するようご意見をいただいていた。その折、今年度から関東甲信地方を対象とする熱中症アラートが試行され、新型コロナウイルスの影響により今年中止となったが、8月の市総体が予定されていた日程には、運動の原則中止や嚴重警戒のアラートが発出されていた。これを受けて、関係団体である体協、体振の意向、大会準備の手順や期間、使用施設のこれまでの予約状況等を勘案し、日程の変更を検討したい。

関係団体の意向を確認したところ、体振は、例年通りの一定期間で、地区レク後の11月中旬から後半が望ましいとのこと。体協の各種目協会においては、11月中の開催は概ね可能であるが、使用する会場の予約状況を踏まえ、日程や内容については調整が必要であるとの回答をいただいた。

その結果、日程変更案として、10月末から11月を中心として、可能な限り大会期日を集約した開催を提案させていただきたい。その後の実際の動きとしては、大会会場の利用調整がありますが、スポーツ課所管の施設については11月末まで、総合公園課所管の施設については12月初旬までに予約希望日を報告する。その後、他のイベントの予約状況を踏まえた最終調整が行われる。

この審議会では、日程変更による地域行事への影響、昨年度実施したアンケートにも

あった、以前からの課題である会場の変更、運営委託料の増額、選手が集まらない（ふるさと選手枠の設置）、参加者数の減少している種目の公開種目化または廃止の検討、大会出場枠の見直し等について、併せて委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後の参考とさせていただきます。

**【会長】**

以前から審議会では市総体の日程変更については議題に挙がっていたが、実際に変更するには至っていない。ここにきて、関係団体への意向確認、アンケートの実施等を経て11月への日程変更が具体的になってきた。地区レク、まちぐるみ大清掃等も考慮し、地域としても11月への日程変更で進めてよいかと思うが、委員の皆様からご意見をいただきたい。

**【委員】**

体協としては、熱中症アラートのことを考慮すると、8月からは日程を変更せざるを得ないと思う。

**【委員】**

体振としても、原案とおりの日程変更で進めていただければと思う。

**【委員】**

スポーツ推進委員としては、トリムバレーボールの大会、全国スポーツ推進委員研究協議会が例年11月にある。市総体の日程が変更になる場合は推進委員の関わるイベントは調整が必要である。

**【会長】**

各団体が日程変更を承認していただければ、あとは会場調整が問題となるが、11月への日程変更ということで今後調整を進めていただければと思う。

**【会長】**

高体連の活動は11月はどうなのか。

**【委員】**

9月から11月がトップシーズンとなります。

**【会長】**

市総体は高校生にも出場の声が掛けていると思うが、日程を分散しての開催は可能か。

**【事務局】**

分散開催は体振に負担がかかるので、短期間開催で考えている。

**【会長】**

11月に日程変更となれば競技によっては高校生の参加が難しくなるかと思うが、各団体においては日程の変更を進めるという認識でいただきたい。

### 3 その他

なし

次回の会議日程について、令和3年2月または3月で開催する旨事務局から説明。

#### 4 閉会